

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年1月14日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東

校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		環境整備、活動に合わせてスペースを変えている。	
	②	職員の配置数は適切である	5		緊急事態などの場合は行政に確認し、大町校と連携を取っている。	安定した職員数で支援できるようスケジュール調整を行っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	室内はバリアフリーになっており、視覚的にわかりやすいような掲示を心掛けている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎日、清掃・衛生対策を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	会議だけでなく、普段の会話の中で、気づいたことは話し合っている。	職員全員で取り組んでいるが、勤務がシフト制になっているので、全職員で十分に時間を取れるよう調整していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		毎年、事業者評価のアンケートを実施している。	意見を反映させ、改善策を考えている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		毎年HP上で公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	地域、他校舎からの監査などを行い、公正・中立な職員で、調査・評価・提言などを行っている。	今後、検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		外部・内部の研修に積極手に参加し、研修報告を行っている。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		お子様の状況、保護者様の意向を踏まえ、担当者会を開き作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		社内、標準化されたツールを使用している。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		ガイドラインに則り、相談事業所のサービス提供書、保護者様・子どもの意向を伺い、支援内容、目標を決めている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		年間・月間計画を立て、担当者決め、主担当を中心にミーティングを行い、毎月イベントを開催している。	担当だけでなく、他の職員の意見も柔軟に取り入れていく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		都度、個別に対応している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		長期休みや祝日など、集団イベントなどを行い、組み合わせて活動している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝、スモールミーティングを行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎晩、スモールミーティングを行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		ケース記録をとり、継続課題や子どもの状況などを細かく共有している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		6ヵ月に1度以上モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者・児発管、主担当者が担当者会議に参加している。	児発管と主担当2名で参加できるように調整していく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	担当者会議以外にも、連携し情報共有を行っている。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	1	保護者様の意向を確認し、連携しています。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	保護者様の意向を確認し、連携しています。	

	⑳	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			必要時は情報共有していく。
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		必要時は情報共有していく。
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		担当者会議や支援経過報告また、直接お電話でも連携しています。また、支援センターの研修にも参加している。	
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		今後、検討していきます。
	㉔	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	積極的までとはいかないが、参加している。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		支援後にFBや連絡帳、個別にメールなどでもやり取りを行い、共通理解できるように努めている。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	1	ペアレント・トレーニングを行える職員に限られている。その他、保護者・お子様のニーズに合わせて支援をおこなっている。	ペアレントトレーニング未受講の職員に、研修参加を促していく。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時、説明し同意を頂いている。	変更などあれば、随時個別で説明していく。
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		個別支援計画の作成後、保護者様に説明を行い、同意を頂いている。	
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		状況に合わせ、電話でお話を伺っている。また、対面で事業所内相談を実施している。	
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	現在は行っていない。	事業者主催のママカフェなど検討していく。
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情窓口の体制を整えている。（契約時に申し入れ窓口を知らせている。）	

非常時等の対応	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		LINE・Instagram・HPなどで随時発信している。	
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		無料開放イベントなど実施していく。
	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		毎月、実施している。	
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月、実施している。	
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		契約時にフェイスシートで確認している。	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当なし	該当なし
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		都度、シートに記入し報告している。年度ごとにファイルでまとめ事例を保管している。	
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		全職員研修に参加している。また、委員会を開き情報共有を行っている。	来年度からは、新人職員向け、在職職員向け、全職員と研修を設定していく。
㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		契約時、保護者に説明し、同意を頂いている。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 1月 14日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東 校

保護者等数（児童数：8 回収数：7 割合：87.5 %）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	3				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6			1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		2	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3			4		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1		1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1		1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		3		2	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5				2	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5				2	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	2			2	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5				2	・職員はやっていると思う。 ・防災訓練などお子様と一緒に過ごさない、お知らせしていきたいと思います。またマニュアルの更新などあった場合は随時お知らせしていきます。感染症などの対策は、掲示や SNS 発信してまいります。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4				3	・職員はやっていると思うが、週 1 利用なので、子どもはしていないと思う。 ・防災訓練などお子様と一緒に過ごさない、お知らせしていきたいと思います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7					・幼稚園で疲れている時、気持ちが不安な時など、無理など、子どもの様子に合わせて無理なく工夫した活動をしてくれるのでありがたいです。 ・これからもお子様の状況に合わせて、楽しんで活動できるよう、支援させていただきたいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。